

## 総務文教委員会

## 主な審査内容

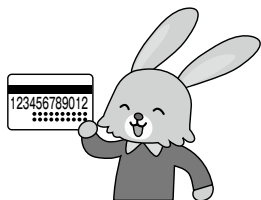
●大竹市個人情報保護条例の一部改正について

Q 個人番号カード（マイナンバーカード）を持たないといけな  
いのかを問う。

A まずは10月に紙製の通知カードが国民へ送付される。その後、希望者には個人番号カードを1月から発行し、その際には紙製の通知カードは返還していただく。現在の制度の中では絶対に必要というわけでもない。

Q ひとり暮らしで入院していたり施設に入所していたりする方には届くのかを問う。

A 通知カードは地方公共団体情報システム機構から簡易書留郵便で送られる。住民票上の住所に住んでいない方については、送付先をどこにするのか、9月25日までに連絡していただきたい。



●平成27年大竹市一般会計補正予算（第1号）

Q 養殖漁業技術開発支援事業補助金について、「阿多田ハマチtoレモン」に関する予算である。今後これをどのように販売していくのかを問う。

A 生産者のほうで価格操作できるように販路体制、販売方法を構築して市場に打ってほしい。市内の鮮魚店や飲食店で販売をしながら、広島市内、全国へ向けて販路を拡大したいと考えている。

Q アゼリアホールを市民が使えないのはいつまでか。当初予算では安全対策のための改修ということだった。今回はその改修方法ではダメだったので再度設計をやり直すということだが、最初からそうすることはできなかったのか。

A 来年3月末まで天井工事を使えないと広報等でお知らせしたが工事内容が変わった。当初、概略を把握したうえで最も安いネット方式で進めることとしたが、設計の問題点がわかっていけば、より適切に対応できていたと考えている。使えるようになるのは平成28年9月頃になると見込んでいる。

●工事請負契約の締結について  
玖波小学校改築工事（建築主体工事）

Q 建設予定地が土砂災害防止法上のイエローゾーン（※）に入っていると思うが、安全対策はどのようなになっているかを問う。

※イエローゾーン

住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のこと  
土砂災害警戒区域のこと

A 土砂災害警戒区域の対策について、まず、山の崖の部分は、既に土砂災害の対策が取られている。そして校舎の位置をなるべく崖から離すように配置している。さらに、校舎から2m程度山側に擁壁を設け、もし土砂が来た場合でもそこで止まると考えている。



玖波小学校完成予想模型

## 【反対討論】

○「危険なので建設場所を移動すべきであると、従来から提案してきた。この議案には賛成しかねる」

## 【賛成討論】

○「大竹小学校、小方小中学校が新しくなる中、玖波がこれまで手つかずだった。自分達の学校が新しくなるという非常に大きな期待がすでに子供たちにもあり賛成」

## ●その他の議案 2件

※採決の結果、すべての議案が  
原案のとおり可決

## 【反対討論】

○「校舎の裏に作る高さ80cm厚さ20cmの擁壁では役立たないことを昨年の広島豪雨が教えてくれた。子ども達の安心安全を真剣に考えて欲しいという声を受け反対」

## 【賛成討論】

○「どこを探してもリスクゼロの場所は皆無。その中で可能な限りの安全策を講じているので、新校舎完成を楽しみに暫定的に玖波中に通っている児童の為にも賛成」

## 本会議での採決の結果

原案のとおり可決



## 生活環境委員会

### 主な審査内容

●平成26年度大竹市水道事業会計決算の認定について

●平成26年度大竹市工業用水道事業会計決算の認定について

●平成26年度大竹市公共下水道事業会計決算の認定について

Q 厳しい財政の中で、水道料金の値上げについてどのように考えているのか。

A 水道ビジョンの後期計画の中で老朽化施設の改築更新や耐震化の計画を策定作業中である。策定後は、投資される資本的支出の額がある程度明確になるので需要に沿った資金収支計画を立てていくことになる。その中で安定給水を維持するための料金体系について考えていきたい。

Q 防鹿地区下水道工事の受益者負担について、家が建つのか分らない畑などに、マスを設置した場合、受益者負担を負担しなければならぬのかを問う。

A 基本的には、受益者負担金の賦課区域として公告をした土地に

ついてはすべて受益者負担金が掛かるが、防鹿地区は市街化調整区域であるので、将来的に家が建たない畑、山林、雑種地等についてどのように取り扱うかは今後の検討事項である。

Q 昨年の8月のような集中豪雨があると小島潮遊池のポンプの排水が間に合わないが、今までの計画、1時間49・7mmの降雨量を再検討する考えはあるのかを問う。

A 雨水排水の雨量基準について、現段階では1時間49・7mmで計画するとしか言えない。仮に、大きいものを作った場合は、国の補助金を申請することが難しいと考えている。

また、この度、下水道認可第14次の変更の中で、降雨強度式の検証は行ったが、結果を見ても49・7mmという数値は、妥当と考えている。



●平成27年度大竹市介護保険特別会計補正予算（第1号）について

平成27年7月1日、広島県西部認知症疾患医療センターに、地域包括支援センター・認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員を併設した「合併型センター」が開設されたこと等に伴い、歳入・歳出に、1,132万1千円を増額するもの。

Q 循環型認知症医療・介護連携システム推進事業について、いまままで違うものを始める場合、何を目標しているのか問う。

A 合併型センターに認知症に関する機関を集中させ一貫して対応していくというモデル事業である。4つの機関が連携し認知症の方から家族までを専門的、包括的に支援することにより、認知症の初期の段階の方から治療を必要とする方までのワンストップ対応を行うと共に、認知症の方が在宅での生活を中心としながら必要に応じて適宜、施設に入所できるといような循環型の仕組みを構築していく事業である。

Q 既に地域包括支援センターは7月1日に開設をされている。補正予算は、今年度の事業費であると思うが、来年度以降はどのようなものか問う。

A 財源については、来年度も県から支出していただけたと考えている。額については、今回の補正が半年分であるので倍程度と認識している。



地域包括支援センターを含む合併型センターが開設された病院

●その他の議案 3件

※採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決